

今回は、住まいという目的だけの建物ではなく、そこに収益性をもたせたり、自分の夢であったスタジオを盛り込んだ建物の話をしたいと思う。

以前も紹介したNビルの場合、竣工から4年が経過した。元々一戸建てだった住まいを立地条件のよさを活かして6階建てのビルへと建て替えられた。1,2階は店舗(賃貸)、3,4階は賃貸マンション、5,6階はオーナーの御家族の住まい。

一戸建て住宅の建て替えとは違い、思いつかれたときは大変勇気が必要だったと思うが、実際ビルが完成し4年がたった今、オーナーの方は大変喜ばれており幸せに生活されている。

それが実現なしえた背景には、なんといっても事業としての成功が不可欠である。そして成功するためには、いきあたりばったりではだめ。事前に綿密な計画を練ることが大切だ。例えば、市場調査、融資の検討、建設業者の選定、テナントの選定などなど、考えていかなければならないことは、多々ある。

そのため施主の方とよく話し合い、施主の方の意向をしっかりと受け止めた上で総合的なプロデュースを行った。その結果、収益性のあるビルとして成功している。

もちろん最上階にあるオーナーの住まいも、快適な空間であり、子供家族や趣味の仲間たちが集う楽しい場となっている。この事業が成功したことで、オーナーの方にとっては、老後の暮らしにゆとりと安心が生まれている。

また、次はインド舞踊のスタジオ兼ホールを自宅敷地内に建設された例。施主の方は、最初趣味で始めたインド舞踊であったのが、いつのまにか教えられる程になり、自宅の一部を使って教室をされていた。

しかし、生徒も増え手狭になり、また発表の場としても使用できるようなスペースを望まれた。幸い敷地内には駐車場として使ってい

た部分があり、そこを最大限利用することにした。そこに自分のスタジオを持つという夢と将来貸しホールとしての運営も考えたいという思いを実現することになった。

建物は、インド舞踊のイメージと施主の方の意向をアジア的な雰囲気の中に表現すること

とした。そのために今回、部材、家具などをインドネシアで、金物を中国で特注した。



とした。そのために今回、部材、家具などをインドネシアで、金物を中国で特注した。

建物は今年7月に完成し、柿落とし公演が9月に開催された。来場者が1000人を超す盛況で、大成功をおさめた。

生き生きと踊られる施主の方を見て、ほんとうに夢を実現され、そのお手伝いできたことを幸せに感じた。

